

ねいの里 ホオホオニュース



平成 22 年度 生き物ふれあい自然塾 行事予定

月日	テーマ	場所	定員	時間
5/16(日)	バードウォッチング (富山県・日鳥連 富山支部 共催)	野鳥の園・古洞池	なし	8:00~12:00
5/22(土)	海浜釣糸清掃 (日鳥連 富山支部 共催)	新湊漁港	なし	9:00~11:00
6/19(土)	囲炉裏とヘイケボタル観賞 (自然塾の会共催)	ねいの里	なし	18:30~20:30
8/22(日)	星座とクワムシを愛でる(自然塾の会共催)	ねいの里	なし	18:30~20:00
10/11(祝)	キノコ狩りとキノコ汁を愛でる	ねいの里	300名	9:00~13:00
1/4(火)~6(木)	春の七草を愛でる(七草の頒布) (自然塾の会共催)	ねいの里	200セット	9:00~17:00

生き物セミナーとピオトープづくり

7/3(土)	生き物との共生セミナー①(自然塾の会 共催) ジュニアナチュラリスト研修(同時開催)			9:30~15:30
10/24(日)	COP10 共催事業 生物多様性の推進(自然塾の会 共催) 「能登のトキ今昔・テナガエビの保護増殖」	定員: なし 場所: ねいの里		10:00~14:00
2/6(日)	生き物との共生セミナー②「動物の体を知る」 (自然塾の会 共催)			9:30~13:00

特別展示

テーマ	期間	テーマ	期間
日鳥連富山県支部写真展	4/2(金)~ 5/14(金)	ねいの里キノコ写真展	9/2(木)~ 10/22(金)
愛鳥ポスター展	5/22(土)~ 6/21(月)	いちよん会 自然写真展	11/21(日)~ 12/12(日)
ネイチャーフォト展 自然写真展	7/1(木)~ 8/30(月)	春の七草実物展	12/13(月)~ 1/16(日)
県内のカブト・クワガタ・淡水魚展	7/16(金)~ 8/30(月)	ネイチャーフォト展2 自然塾の会写真展	12/17(金)~ 3/31(木)

ジュニアナチュラリスト関連行事

ねいの里の研修(新規養成)	7/3(土)・7/31(土)	有峰の自然を探る(アサギマダラ等調査)	9/5(日)
立山研修(新規養成)	7/25(日)	ロシア渡り鳥調査関連行事(富山県内)	11/6(土)~7(日)
有峰研修(新規養成)	8/7(土)~8(日)		

里っこ山っこにっこに

私のジュニアナチュラリスト活動

杉野 貴也 君



僕は動物が好きで、これがジュニアナチュラリストに入るきっかけになりました。ジュニアナチュラリストの研修の中では特に有峰の現地研修が楽しかったです。このときは昨夜の大雨で道路が通行止めになり、もう一泊しなければならないかという状況になり、はらはらしました。こんなハプニングも忘れられない思い出の一つです。

この研修会で動物たちの暮らしや人との関わり方を楽しく学ぶことができよかったです。弟もジュニアナチュラリストになり、これからも一緒に活動に参加し、自分の目で見確認し、周囲の人たちに楽しく伝えてゆきたいと思います。

活動をふりかえり

◆ 春の七草頒布

恒例の春の七草頒布が1月4日~6日の三日間行われました。今年も約300パックの頒布を行い、予約頂いた皆さんに喜んで頂きました。今年は年末から大雪に見舞われ、七草の確保に大変な苦勞がありましたが、職員の皆さんなどの奮闘でほぼ予定通りの七草を確保することが出来ました。皆さん申し込みは事前予約限定で行いますので御協力のほどお願いいたします。
記:長谷川 寛



◆ 雪遊びと冬の観察会(カンジキハイク)

家ではなかなかできない大きななかまくらで、皆大喜びでした。その後普段行けない林の中を歩き、木の芽や動物の足跡さがしをしました。子ども達が「お〜い!! やっほ〜!!」とびよんびよん飛びはね手を振って帰ってきたのが印象的でした。よほど楽しかったのでしょうか。お昼はぜんざいと、甘〜い焼き芋! でっかいなかまくらの中でほおぼりました。

ロングコースのソリはスリル満点で、何度やっても又せっせと登っていく根性と、キラキラの笑顔に触れ、大変嬉しく思いました。テレビやゲームや電子機器があふれ、ため息すら出てしまう今日のごろ...

ねいの里で自然にふれてすごせることの素晴らしさと、ありがたさを強く感じました。

記: 田中 直美



春一番の生き物観察と塾の会総会

春のきざしが見え始めたの里で、生き物観察会が行われました。参加者は31名、まずは春の使者ホクリクサンショウウオの生態を間宮さんから頂き、卵囊と成体の観察をしました。次に園内を廻り春一番の生き物を探しました。満開のマンサクと咲き始めたキンキマメザクラ等を観察しました。午後からは自然塾の会の総会を行い22年度の行事予定を決定しました。
記:長谷川 寛



毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日のうち、ねいの里との共催行事には参加予約が必要です。
お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)
昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんでわいわい楽しく食べましょう。

5月16日(日)	6月12日(土)
○ 午前9時～12時 ・バードウォッチング(ねいの里行事に参加) 愛鳥週間に合せ野鳥の園(古洞池)でバードウォッチングをします。	○ 午前9時30分～13時 ・竹アンドン作りとバーベキュー 6月19日のホテル鑑賞会用の竹アンドンを作りとバーベキューをします。
参加者/定員なし	参加者/定員なし

参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

～ねいの里行事予定 案内～

- 5月22日(土) 9:30～11:00
海浜釣糸清掃 場所:新湊漁港(日鳥連 富山支部 共催)
- 6月19日(土) 18:30～20:30
囲炉裏とヘイケボタル鑑賞(自然塾の会 共催)
- 7月3日(土) 9:30～15:30
生き物共生セミナー① ジュニアナチュラリスト養成研修と同時開催

参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

■ 特別展示

- 4月2日～5月14日 日鳥連富山県支部写真展
- 5月22日～6月21日 愛鳥ポスター展

■ お願い ■

- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用する事が出来ます。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第17号
2009年 4月10日
生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生は

荒城 重義さん

(富山アサギマダラ調査グループ)

渡りの蝶 アサギマダラ

(8年間の調査に参加して)



アサギマダラの調査を始めてもう8年、私にとって去年はラッキーな1年でありました。マーキングした83個体を放蝶しましたが、久々に兵庫・大分・長崎の3件で再捕獲してもらった。

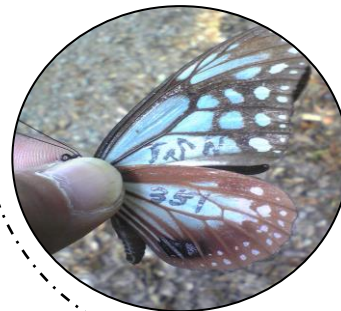
アサギマダラの生態や渡りの不思議についてはまだ解明されていない点が多く、今後の調査に期待されています。私たちの調査にとって重要なことはまず第一に調査活動のメンバーを増やすこと、第二に如何にして多くの個体にマーキングするかということだと思います。

しかし、最近県内での捕獲は容易でなく、マーキング数は伸び悩んでいるようです。県内のアサギマダラの生息地は、主に有峰、黒部、利賀、白木峰、医王山等限られた山地で距離的にも遠く日頃容易に行ける所ではないので効率が悪く捕獲に大変苦労しているのではないのでしょうか。ところで、近年温暖化や山地の生態系が失われつつあると言われてはいますが、本種を捕獲する場合、その時期の天候、花の開花時期、その他生息環境等の変化により大きく影響されると思われます。

私が最近の捕獲活動で気付いた事、思ったことを幾つかお知らせします。

- (1) 以前はヨツバヒヨドリの花が低い林道沿いに咲き、吸蜜で群がるアサギマダラが多く見られたが、ここ数年前より林道沿いの草刈が徹底的に行われ、他の草花も殆ど無くなり、アサギマダラやその他の蝶も少なくなりました。
- (2) 富山県では8月末から9月上旬にかけて個体が一番多いが、恐らく県外特に長野県方面から移動してきたと思われる。(先年、1例の記録がある)アサギマダラが好んで吸蜜するヨツバヒヨドリの開花は、ほぼ7～8月頃ですが、この花と移動時期が一致していないのではないかとと思われる。
- (3) 最近、数年間を見る限り、花がなくてもがけ崩れの工事現場があれば好んで吸水(?)に集まり多数の個体を捕獲できる場合があります。
- (4) 本種は気温には非常に敏感に反応するようです。同じ有峰内でも気温差(標高差)により低標高地には全く生息していない場合でも高標高地には多く生息していることがある。高温になると涼しい橋の下に集まることもある。9月末頃、急に気温が下がると一挙に南下する。

富山アサギマダラ調査グループの調査活動も年々活発に行われ、多くの成果を上げておりますが、今後益々皆さんがご活躍され、私たちに多くのロマンと夢を与えてくれることを楽しみにしております。



平成21年長崎県民の森で再捕獲された荒木さんが放蝶されたアサギマダラ



ジュニアナチュラリスト養成講座で蝶の標本作りの講義をされる荒城さん